

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 10

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	元沢木地区避難道路整備事業					
評価者	担当課名		住民生活課	担当係名		住民活動係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	藤川勝利
事業の概要	津波や洪水時、火災時に安全に避難することができるようにするため、元沢木川北海岸部から国道に出ることができる避難道路を整備したものの。				全体計画 / 単年度のみ (平成 20 年度 ~ 20 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	3,700 千円
				事業費計	3,700 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単位施策	2 応急体制の強化				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町地域防災計画				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	3,591 千円	千円	千円	千円	千円
	合計	3591 千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(元沢木川北海岸部住民)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	既存の町道以外の避難経路の確保。	避難道路整備率				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	元沢木川北海岸部からのスムーズな避難の実現。	① 道路整備数 / 道路整備必要数	指標(指標計算式/解説)			目標年度及び実績値
			目標年度	20年度		
			目標値	1 箇所		
			実績値	1 箇所		
達成度	100.0 %					
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	避難遅れによる人的被害の減少。	②	目標年度			
			目標値			
			実績値			
			達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
避難道路整備	元沢木自治会の協力を得て、元沢木川北海岸部から、高地の畑に上がる避難道路を新設した。(通常は閉鎖している。)					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地域の安全確保、人的被害減少のため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	整備後に災害の発生はないが、避難道路が整備されたことによる安心感をもたらした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	3社による入札を行ったことにより、事業費を抑制できた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	元沢木川北海岸部には元沢木川沿いの町道1路線しか国道に通じるルートがなく、以前から自治会要望として道路整備が出されており、今回避難道路を整備したところでありますが、他地区では複数の避難経路が既にあることから、公平であると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
計画どおり整備され、避難道路の新設という目的は達成された。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	終了	終了	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 11

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	自治会運営補助金					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	淡路至尊		氏名	藤川勝利
事業の概要	各自治会の街灯施設の維持・補修を図るため、街灯電気料金相当額補助、街灯修繕経費補助、街灯新設経費補助を行っている。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
				国・道支出金	千円	
				地方債	千円	
				その他	千円	
				一般財源	23,300 千円	
			事業費計	23,300 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進			
	基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進			
	単位施策	1	地域づくり活動の促進			
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	4,625 千円	5,050 千円	4,700 千円	4,700 千円	4,700 千円
	合計	4625 千円	5050 千円	4700 千円	4700 千円	4700 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	住宅地が広がっていく中で、街灯が無い地区の防犯上の問題が生じる。	補助対象自治会数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ある程度の戸数がある住宅地においては街灯を設置し、防犯に努める。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	20年度
		① 補助金交付自治会数 / 街灯が設置されている自治会数	目標値	26 自治会
			実績値	26 自治会
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域環境を向上させ、犯罪の発生を防止する。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①街灯電気料相当額の補助	各自治会で支払っている街灯電気料相当額を補助金として交付。			
②街灯修繕料への補助	各自治会で街灯の修繕に要した経費に対し補助金を交付。(全自治会分として150千円を全経費で按分し交付。)			
③街灯新設経費への補助	各自治会で街灯の新設に要した経費に対し補助金を交付。(基本補助率60%で補助総額を250千円限度として交付。)			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	地域の安全確保、防犯上の観点から、安全で暮らしやすい地域づくりのために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、1自治会で新設、9自治会で補修を行い、地域の防犯環境が保持された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	この事務事業の大部分は街灯電気料相当額の補助であるが、電気料金の値上がりがあるがそのまま反映されるため、事業費の抑制には繋がらなかったが、地域の防犯環境は保持された。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	街灯の新設及び補修については、自治会の負担があり、電気料については全額補助するため、公平性は保たれている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
地域の防犯環境の保持・向上のため、地域へのバックアップが必要と思われ、計画どおりに事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
今まで同様に街灯電気料相当額補助、街灯修繕経費補助、街灯新設経費補助を行うものとするが、事業をより一層効果的なものとするため、不要となった部分の街灯の地域内移設を推進することとする。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 12

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		交通安全対策特別交付金事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長	
		氏名	淡路至尊		氏名	藤川勝利	
事業の概要	交通安全対策特別交付金により、道路環境の整備を図ることを目的とし、車両通行により視認しにくくなった区画線の塗装や、スノーポールや標識等の設置を行っている。					全体計画 / 単年度繰返	
						(平成 20 年度 ~ 24 年度)	
						国・道支出金	6,500 千円
						地方債	千円
						その他	千円
事業費	一般財源	千円					
		事業費計	6,500 千円				
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()				
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	2 交通安全対策の推進					
	事務事業の種類	自治事務	■ 法定受託事務				
	その他計画・根拠等	交通安全対策特別交付金等に関する政令					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	1,114 千円	1,200 千円	1,300 千円	1,300 千円	1,300 千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	186 千円	千円	千円	千円	千円	
	合計	1300 千円	1200 千円	1300 千円	1300 千円	1300 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	道路環境が交通事故発生の要因の一つとなっている。	区画線塗装10,700m ポール購入120本		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	路側帯やセンターライン、路肩を明確にし、道路環境を整備する。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	20年度
		① 区画線塗装実績延長 / 区画線塗装計画延長	目標値	10700 m
			実績値	10869 m
			達成度	101.6 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通事故の減少。	② ポール購入実績本数 / ポール購入計画本数	目標年度	20年度
			目標値	120 本
			実績値	34 本
			達成度	28.333333 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
①道路区画線の塗装	町内舗装済み町道をパトロールし、区画線が薄くなり視認しにくい場所を確認するとともに交通量を勘案した上で、塗装路線を選定し区画線塗装を行った。			
②スノーポールの購入	毎年、冬期間に向け路肩に設置するスノーポールについて、除雪作業等による損傷があるため、これを購入し更新しているものです。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	事業の原資は交通安全対策特別交付金であり、これは道路環境整備の目的に使用することとなっている。また、町道の環境維持は道路管理者である町が行うべきものである。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	スノーパールの購入本数は目標を大きく下回ったものの、購入するパールの種類によって本数が大きく増減するものであり、破損内容により計画的な購入を行っている。また、近年交通事故件数は低い水準で推移している。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	道路延長は伸長傾向であるが、交通量を勘案するなど原資である交通安全対策特別交付金を有効に活用しており、コストに見合った効果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	道路の損傷具合により整備している事業であり、道路は不特定多数が利用する公共の交通基盤であることを考えると、公正性が保たれていると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 全国で交通事故の減少を目指している中で、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持 今まで同様に、必要路線に対し整備を行う。		
---------------------------------	--	--

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 13

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		興部地区交通安全協会連合会運営事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	淡路至尊		作成者	氏名	藤川勝利
事業の概要	雄武町、興部町、西興部村を対象地区として運転免許証の各種申請代行や免許更新時講習、交通安全啓発活動を行っている興部地区交通安全協会連合会の安定運営のため、運営費負担をしている。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 3,454 千円 事業費計 3,454 千円		
実施方法	直営	民間委託		■ その他 (運営費負担)			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	2 交通安全対策の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	720 千円	699 千円	678 千円	678 千円	678 千円	
	合計	720 千円	699 千円	678 千円	678 千円	678 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	会員加入率が低下しており自主財源が減少している。	地区交通安全協会連合会数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域住民の利便性向上や交通安全運動の推進のため、会を安定運営することが必要。	① 団体の安定運営 ／地区交通安全協会連合会の運営継続	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 団体	
			実績値	1 団体	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	会の安定運営が図られ、広域の交通安全活動の充実や、利用者の利便性を向上させる。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
達成度	%				
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
活動運営に対する補助	地区交通安全協会連合会の安定運営を図るため負担金を支出。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	広域の交通安全活動団体として、また免許証の各種手続きの代行窓口として地域住民に必要な団体であり、その安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	新たに免許証更新時に必要な顔写真撮影事業を開始するなど、利便性の向上と自主財源の確保を図っており、会の運営も安定していることから有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	年次計画を立てコスト削減に努めており、各町村の負担金額は減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	免許証保有者が活動対象の多くを占めるが、幼児や児童に対する交通安全啓発も行っており、概ね公平と判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
現時点でも負担金額の減額を盛り込んだ計画としているため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
地区交通安全活動の推進とともに、免許証更新事務関係で利便性の向上が図られる団体であることから、コスト削減を含んだ現状維持で継続することが適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 14

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町交通安全推進委員会補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	淡路至尊		作成者	氏名	藤川勝利
事業の概要	雄武町の交通安全に係わる住民の育成並びに、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図るため、普及、啓蒙を推進する団体である交通安全推進委員会の運営に補助している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,850 千円 事業費計 1,850 千円		
実施方法	直営		民間委託		■ その他 (運営費補助)		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	2 交通安全対策の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	370 千円	370 千円	370 千円	370 千円	370 千円	
	合計	370 千円	370 千円	370 千円	370 千円	370 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	人身事故、物損事故ともに低い水準ながら増加している。	人身事故発生件数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交通事故発生件数の減少。	① 人身事故発生件数 ／人身事故発生皆無を目標とする。	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 0 件
						実績値 7 件
						達成度 #DIV/0! %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現する。	②	目標年度			目標年度
			目標値			目標値
			実績値			実績値
			達成度			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
活動運営に対する補助	雄武町全体での交通安全運動を行う団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	交通事故の無い町を目指す上で、全町体制での交通安全への取り組みが必要であり、その中心となる団体の安定運営のために本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	交通人身事故発生皆無の実現には至らなかったが、幼児、児童、高齢者を対象とした交通安全活動を行っており、会の運営も安定していることから有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	関係諸団体や警察とも協力して活動を推進しており、コストの削減に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町民全体の交通安全を目標として活動しており、公平性は保たれていると判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武町の交通安全に係わる住民の育成や、幼児、児童、高齢者への交通安全思想の高揚を図ることを推進する団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
人身事故のみならず、交通事故の無い町を実現するため、全町的な交通安全運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 15

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町自治会連合会補助事業				
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊	氏名	藤川勝利	
事業の概要	自治会相互の連携を図り、その活動を通じて住民生活の向上を図るもので、その中心となる自治会連合会に対し、活動補助を行っている。				全体計画 / 単年度繰返	
					(平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
一般財源	1,250 千円					
事業費計	1,250 千円					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (運営費補助)			
第 5 期 総合計画 (前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進				
	基本施策	22 住民主体のまちづくりの推進				
	単位施策	1 地域づくり活動の促進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	250 千円	250 千円	250 千円	250 千円	250 千円
	合計	250 千円	250 千円	250 千円	250 千円	250 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町自治会連合会	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	全自治会の3/4の加盟にとどまっており、全自治会の集合体とはなっていない。	自治会連合会数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の全自治会が加盟し、単位自治会の集合体として地域づくり活動を担う組織として機能する。	① 団体の安定運営 ／自治会連合会の運営継続	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 団体	
			実績値	1 団体	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	各自治会のまとめ役として、行政との連携や自治会間の問題解決を図る組織となる。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
運営費補助金の交付	自治会連合会の安定運営を図るため、独自活動を行うための運営費補助を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	会の安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	加盟する自治会数の増加を目指したが、新規加盟は無く、今後も運動を強化して取り組む必要がある。連合会事業の市街地区敬老会開催や自治会対抗パークゴルフ大会開催、共済加入については予定どおり実施された。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	この事務事業は運営補助金であり、概ね対応する事業は実施された。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	加盟している自治会と加盟していない自治会とでは、共済加入等の差異があるが、加盟していない自治会でも市街地区敬老会には参加するなどしており、概ね公平と判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
単位自治会の集合体として地域づくり活動を担う組織として機能するよう、計画どおりに事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持	継続／現状維持	
未加盟自治会の加盟促進と全町的な地域づくり活動の展開を考慮し、今まで同様に運営費補助を行うこととする。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 16

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		興部地区防犯協会連合会運営事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	淡路至尊			氏名	藤川勝利
事業の概要	雄武町、興部町、西興部村を対象地区として防犯活動を推進している興部地区防犯協会連合会の安定運営のため、運営費負担をしている。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	事業費	
					国・道支出金	千円	
					地方債	千円	
					その他	千円	
					一般財源	930 千円	
					事業費計	930 千円	
実施方法	直営	民間委託		■ その他 (運営費負担)			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	1 防犯体制の強化					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	186 千円	186 千円	186 千円	186 千円	186 千円	
	合計	186 千円	186 千円	186 千円	186 千円	186 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	広域での防犯活動の実施。	地区防犯協会連合会数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域住民の防犯意識の高揚や地域安全活動の実施のため、会を安定運営することが必要。	① 団体の安定運営 ／地区防犯協会連合会の安定運営	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 団体	
			実績値	1 団体	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	会の安定運営が図られ、広域の防犯・地域安全活動の充実を図る。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
活動運営に対する補助	地区防犯協会連合会の安定運営を図るため負担金を支出。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	広域の防犯活動団体として、共通する問題・事案に対応するために必要な団体であり、その安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	会の運営が安定し各種事業を展開していることから有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効／概ね有効／課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	各町村からの負担金額については平成17年度から平成19年度までの3年間で計画的に削減したところである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的／概ね効率的／課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全体に関係する防犯に対する活動を行っていることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	
公平／概ね公平／公平でない		

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
3年間で負担金額の減額を実施しており、その上で安定運営できることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
これからも地域の防犯活動の推進に必要な団体であり、現状維持で継続することが適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 17

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武町交通安全協会補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課	担当係名	住民活動係		
	管理職	職名 課長 氏名 淡路至尊	作成者	職名 係長 氏名 藤川勝利		
事業の概要	地域交通安全運動を推進している交通安全協会の運営に補助している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					事業費	
					国・道支出金	
					地方債	
					その他	
				一般財源		
				事業費計		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (運営費補助)			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進				
	単位施策	2 交通安全対策の推進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円
	合計	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	人身事故、物損事故ともに低い水準ながら増加している。	人身事故発生件数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	交通事故発生件数の減少。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 人身事故発生件数 / 人身事故発生皆無を目標とする。	目標年度	20年度
			目標値	0 件
			実績値	7 件
達成度	#DIV/0! %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	交通人身事故のない町を実現する。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内容(どのような手段で何を行ったか)				
活動運営に対する補助	地域交通安全運動団体活動の安定運営を図るため補助金を交付。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	交通事故の無い町を目指す上で、地域に根ざした活動が重要であり、その実践団体の安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	交通人身事故発生皆無の実現には至らなかったが、各地域で交通安全運動に取り組むことにより、個人の交通安全意識の向上が見られ、会の運営も安定していることから有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	関係団体や警察と協力して活動する中で、ある程度のコストを削減し、平成20年度において補助金額が減少している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町民全体の交通安全を目標として活動しており、公平性は保たれていると判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地域交通安全活動の中心となる団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
人身事故のみならず、交通事故の無い町を実現するため、地域交通安全運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 4 - 18

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町防犯協会補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	淡路至尊		作成者	氏名	藤川勝利
事業の概要		地域防犯運動の中心となっている防犯協会の運営に補助している。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 750 千円 事業費計 750 千円		
実施方法		直営		民間委託		■ その他 (運営費補助)	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	1 防犯体制の強化					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	
	合計	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	150 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	犯罪発生数の減少。	犯罪発生件数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内において、犯罪が起きない・犯罪を起こさない環境をつくる。	① 犯罪発生件数 ／犯罪発生皆無を目標とする。	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 0 件
						実績値 40 件
						達成度 #DIV/0! %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	犯罪のない明るい町を実現する。	②	目標年度			目標年度
			目標値			目標値
			実績値			実績値
			達成度			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
活動運営に対する補助	防犯推進団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	犯罪の無い町づくりを推進する上で、活動の中心となる団体として重要であり、会の安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	犯罪発生皆無の実現には至らなかったが、町民の防犯意識の向上を図ることはできたと考える。会の運営も安定していることから有効である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	関係機関や警察とも協力して、児童に対する啓発やイベント時、歳末の啓発活動を行っており、コストについても削減傾向である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町全体の防犯を目標として活動しており、公平性は保たれていると判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 防犯活動の中心となる団体であることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続／現状維持		
犯罪の無い明るい町を実現するため、防犯運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 19

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	淡路至尊		作成者	氏名	藤川勝利
事業の概要		暴力団排除運動を推進している雄武町暴力追放運動推進協議会の運営に補助している。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 225 千円 事業費計 225 千円		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (運営費補助)			
第5期総合計画(前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業		<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	20 防犯・交通安全の推進					
	単位施策	1 防犯体制の強化					
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額(一般財源)	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	
	合計	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	45 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	イベントにおける暴力団関係者の排除。	暴力追放運動推進団体数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内において暴力団が活動できない環境をつくる。	① 団体の安定運営 ／暴力追放運動推進団体の運営継続	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
		目標値	1 団体		
		実績値	1 団体		
達成度	100.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	暴力団が関与しない安心な町を実現する。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
活動運営に対する補助	暴力追放運動推進団体活動の安定継続を図るため補助金を交付。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	暴力団が関与しない安心な町づくりを推進する上で、活動の中心となる団体として重要であり、会の安定運営のために必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	町内イベントへの暴力団関係者の関与は無く、会の運営も安定していることから有効である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	イベント等への露店出店者から暴力団関係者を排除するばかりではなく、露店出店者へのゴミ分別等の指導も行っており、効果は大きいものである。また、会員の中から寄付金を募って活動資金に充てており、事業費抑制の効果もある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町全体の暴力団排除を目的として活動しており、公平性は保たれていると判断される。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
現在の、暴力団が関与しない安心な町づくりを継続するためにも、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続／現状維持 町民にとって安心して暮らすことのできる町を実現するため、暴力団排除運動に対する補助を現状維持で継続することが適当である。	継続／現状維持	
*展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 20

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名							津波防災マップ作成事業						
評価者	担当課名		住民生活課		担当係名		住民活動係						
	管理職	職名	課長		作成者	職名	係長						
		氏名	淡路至尊			氏名	藤川勝利						
事業の概要					標高データを基に町内マップを作製し、自分の住んでいる場所の高さを理解してもらい、津波防災のための参考にしてもらうとともに、土砂災害危険箇所を載せ、日頃からの防災意識を高めるため、町内全戸へ配布した。					全体計画 / 単年度のみ (平成 20 年度 ~ 20 年度)			
							事業費		国・道支出金 1,000 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,037 千円 事業費計 2,037 千円				
実施方法		■ 直営		民間委託		その他 ()							
第 5 期 総合計画 (前期)				登録事業		■ 非登録事業		優先度					
事業の位置付け		政策目標		4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～									
		基本施策		19 消防・救急・防災体制の強化									
		単位施策		1 災害予防対策・危機管理対策の強化									
		事務事業の種類		■ 自治事務		法定受託事務							
		その他計画・根拠等											
事業費	実施年度		20年度(実績)		21年度(見込)		22年度(計画)		23年度(計画)		24年度(計画)		
	国・道支出金		1,000 千円		千円		千円		千円		千円		
	地方債		千円		千円		千円		千円		千円		
	その他財源		千円		千円		千円		千円		千円		
	雄武町負担額 (一般財源)		1,037 千円		千円		千円		千円		千円		
	合計		2037 千円		千円		千円		千円		千円		

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	自分の住んでいる場所の高さや土砂災害危険箇所、避難所の場所、災害の際の行動をまとめた資料がなかった。	資料作製・配布					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	自分の住んでいる場所の高さを理解してもらうとともに、土砂災害危険箇所の情報を提供することにより、日頃からの防災意識の向上を図り、もって避難遅れなどによる人的被害の発生を防止する。	① 資料作製・配布 ／町内全戸に配布	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値	
			目標年度	20年度		目標値	1 式
			実績値			実績値	1 式
			達成度	100.0 %		達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	災害時の人的被害発生を防止。	②	目標年度			目標値	
			実績値			実績値	
			達成度			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)							
雄武町防災パンフの作製	雄武町防災パンフレットを作製し、巻末に標高や土砂災害危険箇所、避難所などを掲載した全町マップを差し入れた。						

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	平成21年度に予定している「防災行政無線(同報系)整備事業」をソフト面で補完する事業である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	自分の住んでいる場所の高さを理解してもらうとともに、土砂災害危険箇所の情報を提供することにより、避難遅れなどによる人的被害の発生防止や、日頃からの防災意識の向上が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	4社による入札を行い、当初の計画事業費よりも事業費が抑制された結果となった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	全戸配布し、転入者にも窓口で配布していることから、公平と考える。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
計画どおり事業が進んだ。		

今後の展開方向 (Action)	終了	終了	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 21

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	防災行政無線(同報系)整備事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	住民活動係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路至尊		氏名	藤川勝利
事業の概要	雄武町の海岸沿い集落を中心に防災行政無線(同報系)を整備し、津波災害等の防災システムとして活用するための実施設計事業である。				全体計画 / 期間限定複数年度 (平成 19 年度 ~ 21 年度)	
					国・道支出金	85,600 千円
					地方債	100,100 千円
					その他	千円
					一般財源	3 千円
				事業費計	185,703 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単 位 施 策	2 応急体制の強化				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町地域防災計画				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	1,397 千円	86,262 千円	千円	千円	千円
	地方債	1,400 千円	101,100 千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	272 千円	18 千円	千円	千円	千円
	合 計	3069 千円	187380 千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	避難勧告等を該当住民に即座に伝達する手段が無かった。	実施設計一式		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	避難勧告等を一刻でも早く住民に伝達し、避難行動開始を早める。	指標(指標計算式/解説)	目標年度	20年度
		① 実施設計の実施	目標値	1 式
			実績値	1 式
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	避難が遅れたことによる被災者を皆無にする。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
実施設計の実施	防災行政無線(同報系)の整備内容を具体的にするため実施設計を実施した。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	無線放送設備整備のためには専門業者による実施設計が不可欠であり、本工事に向けて必要であった。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	本事業で実施設計を行ったことにより、次の施設整備段階へと事業推進が図られる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	入札により受託業者を選定し、より安価で実施するようにした。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

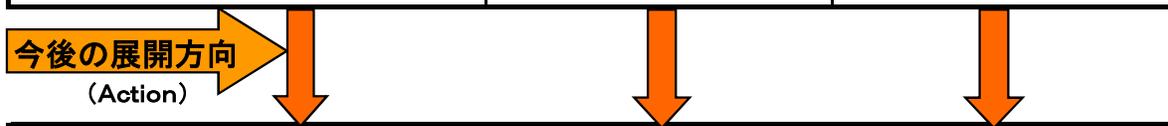
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内全地域への整備ではないが、整備目的で津波災害の防止を主としていることから、設置範囲は海岸沿いが中心となる。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業が進んでいる。		



継続／拡充		
次の段階は施設整備となることから、事業費は増大する。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 22

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	地域ぐるみ防災推進事業					
評価者	担当課名	住民生活課	担当係名	住民活動係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	淡路至尊		氏名	藤川勝利
事業の概要	有事の際の地域ぐるみ防災としての防災訓練等、今後実践が必要な事項の調査・検討を進め、平時の取組み強化を推進する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	19 消防・救急・防災体制の強化				
	単位施策	1 災害予防対策・危機管理対策の強化				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	合計	千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	今まで、全町や地域毎での防災訓練等を実施していない。	実践事業の推進	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	全町や地域毎での防災訓練を定期的に行い、自主防災意識の高揚を図る。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		① 訓練 / 職員研修	目標年度 20年度 目標値 1 回 実績値 1 回 達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	有事の際に地域が連携し、被災者の出ない地域づくり。	②	目標年度 目標値 実績値 達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
職員研修	網走支庁で開催された国民保護図上訓練に参加し、現状での情報伝達経路や伝達優先順位の確認を行った。		

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	防災行政無線(同報系)の整備後、有効に活用するために避難訓練等の実施が必要であり、その前段として防災意識の高揚が必要となる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	これから充実させていかなければならない事業であるが、初年度としては有効であったと考える。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	もともと事業費を計上していない事業であるが、北海道の研修を利用して実施したものであり、今後も有効活用したい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	将来的には全町単位での地域ぐるみ防災活動へと発展させる予定である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
今後も計画どおり事業を進めることが適当。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続／拡充	継続／拡充	
防災行政無線(同報系)整備後には、事業内容を拡充する必要がある。			
*展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--